

広野文芸欄

季題 当季雑詠

広野町霜月句会

行々子先生選

一筋のコンバインの灯照しをり
満月や夕餉の卓にコップ酒
三つども多光の中の秋の蝶

悟 峯

鈴虫に迎へられたる古都の寺
木犀の香りの届く露天風呂
鮭のぼる姿に歩みとどめけり

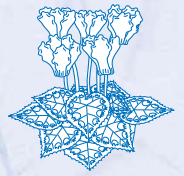
塩 史子

棟上げの槌音軽く秋高し
秋の色こごと決めて画架を立つ
銀杏散る小径に残る明りかな

遠藤健太郎

杉木立際立つ色の蔦紅葉
鳥の群伸び縮みする秋の暮
峯紅葉生きる歓び賜りぬ

西山子



草藪の中のひと本彼岸花
稲刈りの予定を乱す雨の音
白鷺の落穂ついでばむ立ち姿

阿部 真生

篤姫の笑みの匂ふや菊人形
芒原思い出多きかくれんぼ
コンバインの音高々と豊の秋

宮下 純子

天高し赤き車体の稲刈機
阿武隈嶺源にして秋の水
筆置いて一服の茶や杜鵑草

酒井 津祿

●俳句会 会員募集●

移りゆく四季折々の自然を深く心にうけて、
すずしく日々を文字にして詠んでみては如何でしょうか。

月一回二時間余りののどかな句会です。
講師先生はいわき市より若き猪狩行々子先生。ずっと前から知っていたような人なつこい眼差し、文学の先生です。一句一句丁寧に読み上げて教えられております。

俳句を作ってみたい御希望の方は「俳句会 遠藤健太郎 ☎27-12412」まで

10月19日(日)に第15回ひろの童謡まつりが開催され5作品の童謡があらしく広野町から生まれました。町民のみなさんに童謡に親しんでもらうため5作品の歌詩と楽譜をシリーズで紹介いたします。今回は、先月の最優秀賞に続き、優秀賞「おとうさん」です。

童謡「作詩・作曲コンクール」

優秀賞

おとうさん

鳴澤 純佳 / 作詩・作曲

佐藤 巨弘 / 編曲

おとうさん パパ おつきな手 かた車
笑った顔が大好き
いっしょに歌うの大好き
おとうさんのおい
でっかいお空のにおい
おとうさん パパ「ぎゅっ」と手をつながれた
おこられたって大好き
いっしょにお風呂も大好き
パパのせなか
でっかいやさしいせなか

畜産農家を訪ねて

シリーズ6

広野町和牛部会に加入し、日々和牛の飼育に励んでいる会員を毎月シリーズで紹介しています。
今回はシリーズ最終回となります。

畜主名

塩 能武さん
(大字折木)

畜主歴

- 平成13年から1頭ずつ飼い始めて、現在親牛5頭、子牛3頭

牛を飼育して良かったと感じるときは

- 子牛が無事生まれ、親牛も元気で子育てしてくれてセリに出せた時。
- 堆肥を畑や田に不自由なく使用できること。

牛を飼育して大変なこと

- 牛舎内の肥をあまり貯めずに肥出しして、牛舎内を常に清潔にしておくこと。
- 牧草は休耕田を借りて自給自足としているが、いのししの被害に遭い大変。



▲能武さんと奥さんの史子さん

飼育するのに工夫していること

- 牛舎の給餌場を簡素化し、スニーカーでも汚れずに給餌できるようにした。
- 牛舎内では粗飼料を自由採食できるように群れ飼いにしている。
- 牛舎内の肥出しを楽にするため、堆肥場を牛舎床より低くした。

和牛を導入して繁殖経営に取り組んでみたい方は、役場産業グループまでご連絡下さい。

広野町役場 産業グループ ☎ 0240-27-4163